

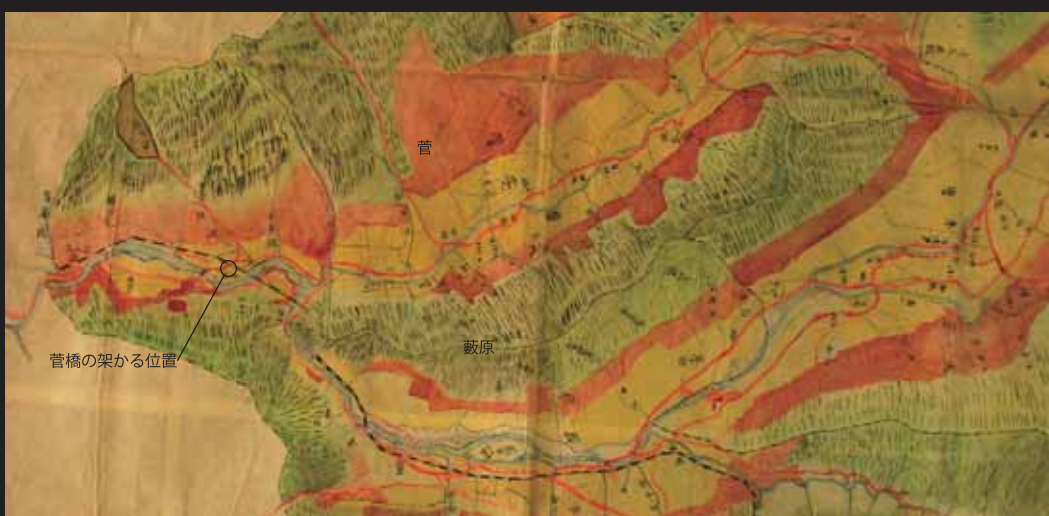
すげ ばし  
菅橋

中部地方の  
選奨土木遺産

所在地：長野県木曾郡木祖村 竣工年：昭和8年 管理者：木祖村

認定理由：昭和初期の不況只中に木祖村の発展を期した村道改修事業の一部として建設された、木曾谷で初めての鉄筋コンクリート拱橋である。

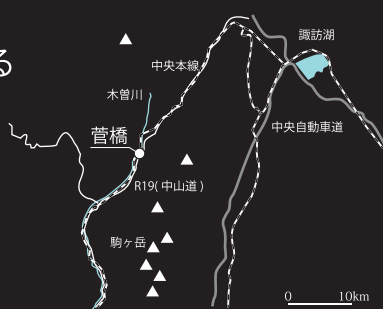
平成23年度登録



(上) 近代木祖村の土地利用図（菅橋架け替え以前）

(右) 架橋工事中の菅橋 関係者の誇りがうかがえる

昭和6年、菅村にスキー場が開設し、さらに菅村に木曾谷一円の患者を集める医院があったことなどにより、鉄道駅（藪原）から木曾川を渡り菅村へアクセスするルートが村の事業として整えられた。時局匡救事業（失業対策等のための臨時予算）としての性格もあり、県から補助があるが、総工費約1万2千円のうち約2千円を菅村民有志19名からの寄附が寄せられ、その主要工事として菅橋がコンクリート橋として架け替えられている。菅橋は、中心通の表玄関に相応しく、大きな親柱、尖塔型開口のある高欄、アーチ頂部要石レリーフなど、規模に比して、非常に格調高くデザインされている。



高欄の尖塔アーチ型開口・要石のレリーフと交差ボルト型の親柱